# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

## 1-1 建物概要

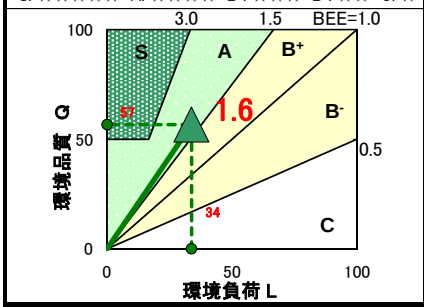
| | | | |
|---|---|---|---|
| 建物名称 | (仮称)ﾎﾃﾙｱﾏﾈｸ箱根仙石原ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ | 階数 | 地上4F、地下1F |
| 建設地 | 足柄下郡箱根町仙石原字六郎兵衛 1246-702 他 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 都市計画区域 | 平均居住人員 | 139 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | ホテル, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年7月 予定 | 評価の実施日 | 2019年9月19日 |
| 敷地面積 | 16,416 ㎡ | 作成者 | (株)奥村組東日本支社一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 4,338 ㎡ | 確認日 | 2019年9月27日 |
| 延床面積 | 7,285 ㎡ | 確認者 | (株)奥村組東日本支社一級建築士事務所 |

## 1-2 外観

## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

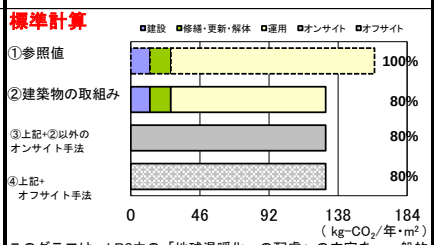
BEE =1.6 ★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



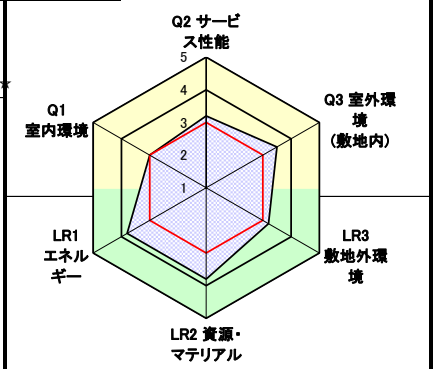

## 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆




このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

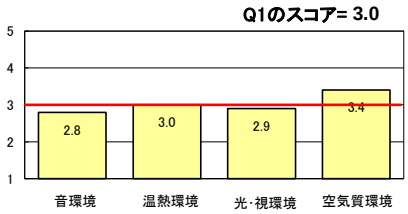
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



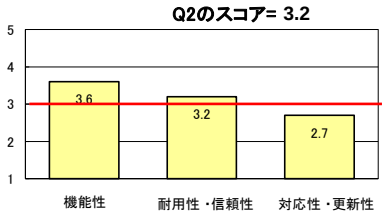

## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質　Q のスコア= 3.2

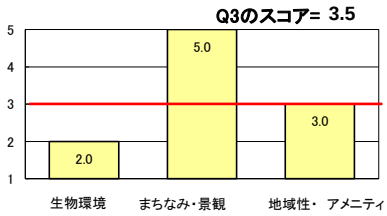
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.0




Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

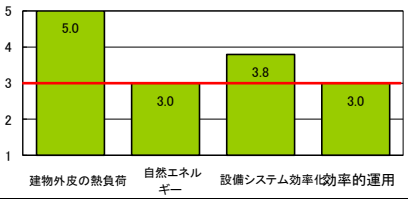



Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.5

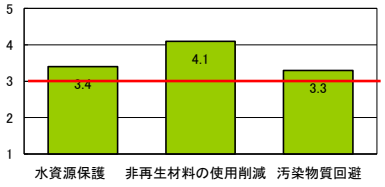



### LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.6

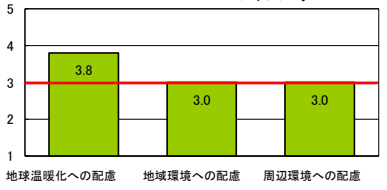
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.8




LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.8




LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.2




## 3 設計上の配慮事項

### 総合

本建物は、客室棟と共用棟からなる宿泊施設である。傾斜地を利用し、ロビーやラウンジ、各客室からの眺望に配慮した計画としている。また、客室が、自然光を取り入れた明るい空間となるように配慮している。

### その他

### Q1 室内環境

・開口部遮音等級はT-2等級とし、客室内の音環境に配慮する。

### Q2 サービス性能

・コンセプトに基づく内装計画により、快適性に配慮する。
・ダクトや配管は、耐用年数を考慮して種類の選定を行い、更新性に配慮する。

### Q3 室外環境（敷地内）

・敷地内の樹木は極力残し、周辺環境との調和に配慮する。
・積極的な緑化計画に配慮する。

### LR1 エネルギー

・窓システム：SC=0.314、U=3.04W/㎡K、外壁：U=0.98W/㎡K、屋根：U=0.46W/㎡K

### LR2 資源・マテリアル

・節水器具を採用し、水資源保護に配慮する。
・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。

### LR3 敷地外環境

・適切な量、配置の駐車スペースの確保に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される